

## 復活の主日

ヨハネ 20・1-9

2022.4.17

カトリック高円寺教会 11:00 ミサ

主任司祭 吉池好高神父

このミサの後でお別れのご挨拶をしたいと思います。二重にならないように、今日はこのお説教の中で皆様とのお別れのご挨拶をさせていただきたいと思っております。

わたしとしては、待ちに待った4月17日のご復活祭を迎えることができ、本当に感謝しています。それよりも何よりも、皆様とのお別れにあたって、この復活祭のミサを共に捧げることができることが、何よりもの感謝でございます。

復活祭は、天におられる主イエス・キリストを思い起こす、その主がわたしたちと共にいてくださることを信じる、そのような祭日であります。天におられる主イエスと共に、今や天に召されたわたしたちの恩人がたのことを思い出さずにはられません。

何よりも、教会のお台所で教会の母のように毎食の食事を準備して下さった福永幡子さんを思い出します。福永さんはお台所にいることによって、大勢の皆さんがお台所に入る勇気をもって、福永さんと楽しい時間を過ごされました。その頃、高円寺教会では、今、町田教会にいらっしゃる林神父様、そして澤田神父様と、三人の司祭が高円寺教会に在職して、その三人の司祭たちのための賄いを福永幡子さんはずっとして下さいました。ご無理がたたったのでしょう。お家から教会まで毎日自転車で重い料理の道具をお運びになられてお尽くしく下さいましたことを、今も昨日のごとくに思い出しております。

そして、神様のみもとに召されたお世話になった皆様、特に歴代の教会委員長の皆様には大変お世話になりました。お名前を挙げると古い信者さんがたはきっと懐かしく思い出されるに違いありません。永島洋三さん、そして、吉田憲一さん。教会委員長として、高円寺教会のためにその命を削るようにしてお使いくださいました皆様、今は神様のみもとでの永遠の休みを心か

からお祈り申し上げたいと思っております。

今日こうしてこのご復活祭のミサを共に皆様とお捧げすることができますことを心から感謝いたしております。

今、ペトロの家で毎朝7時から、皆様のお一人お一人を思い起こしながら、13人の司祭たちの共同生活の中で、ごミサをすることができる司祭たちが毎朝皆様のためにお祈り申し上げております。過ごしてこられた司祭職の中で出会ったすべての方々のためのそれぞれの司祭の祈りが、一つの感謝の祭儀の中で結ばれて、天の御父のもとに主イエス・キリストを通して捧げられていることをどうぞ皆様もお心に留めていただいて、毎朝7時、お忙しい時間でしょうけれども心を合わせてお祈りいただけたらと思っております。

お別れにあたって、今日間に合いませんでしたが、あの大地震のすぐ後に典礼暦の一年の高円寺教会で皆様に聞いていただいた説教を一冊の本にまとめて、皆様にお届けすることができたと思っております。出来上がってまいりましたら、「天使の森」にお願いして、皆様に改めてご覧いただけたらと思っております。

今日こうして、本当に今まで至らない司祭のもとに、教会共同体として皆様一つの絆に結ばれて共に歩むことができたことを心から感謝申し上げます。これからそう長くはないと思いますが、もしできたら神様のみもとに行くまで、皆様のことを思い起こしながら心からお祈り申し上げております。本当に長い間ありがとうございました。